

# 令和6年度 事業報告書

社会福祉法人しあわせの郷

# 令和6年度 社会福祉法人しあわせの郷 事業報告

## 経営理念と基本方針

### 経営理念

「地域のお年寄りの方が生きがいを持って、安心して暮らすことのできる地域に開かれた施設づくりを通じ、役職員が一丸となって介護を要する人のために、より良いサービスを提供します。」

### 基本方針

- ・利用者の人権と個性を尊重し、心のこもった介護で豊かな暮らしを支えます
- ・地域との連携を大切にして信頼される施設づくりに努め、地域福祉に貢献します
- ・職員の育成指導並びに福利厚生の実施を図り、安心して働ける環境づくりに努めます
- ・健全かつ活力のある経営に努め、安定した施設運営を目指します

### 運営方針

社会福祉法人としての役割を認識して、運営を長期的に安定させる

- ・地域のより多くの方にご利用いただくため稼働率を高め安定させる
- ・規程やルールを再構築し、運営の地盤を強固にして普遍化させる
- ・安定したサービスを提供するため、介護・看護人材の定着と安定を図る

## 1、事業概要

### ①法人の概要

主たる事務所の所在地	電話番号	代表者氏名
岡山県備前市三石2791-1	0869-62-2717	徳永 憲威
事業開始年月日		設立登記年月日
平成 14 年 4 月 1 日		平成 12 年 10 月 12 日

### ②法人の行う事業

社会福祉事業	施設種別	名称	定員
第一種社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 深谷荘	70名
		地域密着型 特別養護老人ホーム深谷荘	20名
第2種社会福祉事業	短期入所生活介護	ショートステイ深谷荘	6名
	地域密着型通所介護	デイサービスセンターバンビ	18名
公益事業	居宅介護支援事業所	深谷荘居宅介護支援事業所	—

### ③登記の状況

登記事項	登記年月日
1 資産の総額 金5億7254万1562円	令和6年6月26日
(役員に関する事項) 兵庫県たつの市揖保町門前369番地1 理事長 徳永 憲威	令和6年6月26日

## 2、理事会開催状況

開催 年月日	出席者 ／定数	議案	欠席者氏名	出席監事名
第1回 令和6年 4月22日 みなし決議	6／6	審議事項 第1号議案 給与規程細則「処遇改善支援手当」について	同意書	確認書
第2回 令和6年 6月7日	5／6	審議事項 第1号議案 令和5年度 事業報告について 第2号議案 令和5年度 決算報告ならびに監事監査報告について 第3号議案 定時評議員会の日時、場所、議案等について 第4号議案 評議員選任解任委員の解任について 第5号議案 評議員選任解任委員の選任について 第6号議案 評議員の選任について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	瀬戸 雅嗣 書面決議	立川 茂 西丸 将史
第3回 令和6年 12月13日	4／6	審議事項 第1号議案 経理規程改定について 第2号議案 就業規則改定について 第3号議案 令和6年度第2次補正予算について 第4号議案 令和7年度事業計画について 第5号議案 評議員会の日時、場所、議案等について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	山形 明 松尾 太郎 書面表決	立川 茂 西丸 将史
第4回 令和7年 2月13日 みなし決議	4／6	審議事項 第1号議案 借入金の借換について 第2号議案 情報ネットワーク構築を目的とした備前日生信用金庫からの借入について	同意書	確認書

第5回 令和7年 3月14日	4/6	第1号議案 令和6年度第2次補正予算について 第2号議案 令和7年度 事業計画について 第3号議案 令和7年度 当初予算について 第4号議案 就業規則（常勤職員）改定について 第5号議案 就業規則（準職員）改定について 第6号議案 給与規程改定について 第7号議案 人事考課規程改定について 第8号議案 退職金規程改定について 第9号議案 法人役員及び評議員の慶弔見舞金規程改定（案） について 第10号議案 セクシャルハラスメント防止に関する規程改定 について 第11号議案 パワーハラスメントの防止に関する規程改定に ついて 第12号議案 妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント の防止に関する規程改定について 第13号議案 ストレスチェック制度実施規程改定について 第14号議案 育児休業等に関する規程改定について 第15号議案 介護休業等に関する規程改定について 第16号議案 経理規程改定について 第17号議案 経理規程細則改定について 第18号議案 評議員選任・解任委員会運営細則改定について 第19号議案 評議員会の日時、場所、議案等について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	瀬戸 雅嗣 山形 明 書面決議	立川 茂 西丸将史
----------------------	-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------	--------------

### 3、評議員会開催状況

開催 年月日	出席者 /定数	議案	欠席者氏名	出席監事名
第1回 定時 令和6年 6月22日	5/8	第1号議案 令和5年度 事業報告について 第2号議案 令和5年度 決算報告ならびに監事監査報告に ついて 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	坂越 大輔 田村 和彦 書面決議	立川 茂 西丸将史
第2回 令和6年 12月21日	6/8	第1号議案 令和6年度第1次補正予算（案）について 第2号議案 定款改定について 第3号議案 役員報酬規程について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	坂越 大輔 上田 明子 書面表決	西丸 将史

第3回 令和6年 2月21日 みなし決議	7/8	第1号議案 借入金の借換について 第2号議案 情報ネットワーク構築を目的とした備前日生信用金庫からの借入について	同意書	確認書
第4回 令和6年 3月22日	7/8	第1号議案 令和6年度第2次補正予算(案)について 第2号議案 令和7年度 事業計画について 第3号議案 令和7年度 当初予算について 報告事項 理事長の職務執行状況の報告について	坂越 大輔 書面表決	西丸 将史

#### 4、令和6年度事業運営の概要

収入面については法人全体で令和5年度 436,883千円から令和6年度は 456,851千円となり 19,968千円増加した。

特養部門では健全な収益構造を構築するため利用率の確保を継続的に行ったがウイルス感染を中心とした入院者の増加による稼働率の低下が発生した月もあった。入院者の増加時には空床を利用したショートステイ利用で稼働率を確保できた。

デイサービス部門では新規利用者確保に努めた結果、年度当初の1日平均利用令和6年4月当初時点で18名定員中1日平均利用12.4名から10月時点で14.8名、令和7年2月には平均利用人数15.4名となり、地域の方に多く利用していただく特色のある運営「備前モデル」の成果を出すことができた。

結果として全事業が安定した収益を確保する地盤ができてきており、次年度の見通しが明るい状況となっている反面、人件費、物価高、光熱費の上昇等の逆風要因により、利益を確保することが難しい情勢となってきた。

支出面については介護職員の人員が下期から減少し、事務部門の応援体制により総出で対応を行ったが人件費は予算比程度となり。売り上げの増加で収益を補完するまでには至っていない。結果として年度当初の目標であった「社会福祉法人としての役割を認識して運営を長期的に安定させる」ということには至っていない。

人材確保については日本人の介護職員の確保が難しいが、介護福祉士を直接雇用1名、紹介業者ルートで3名、外国人材に関してはフィリピンから特定技能1号として召喚し、10月に2名を採用し年度末時点で仕事に慣れて戦力となっている。ベトナム人材については介護福祉士1名が就労を継続している。しかし10月にフィリピン人特定技能人材2名、12月にベトナム人特定技能人材の計3名が退職、11月にベトナム人介護福祉1名が産前休暇に入り、現在就労中はフィリピン人特定技能5名、ベトナム人介護福祉士1名の計6名が就労している。

職員研修については動画研修を基本として7割の職員が受講することができた。オンライン研修への移行等、更なる工夫による効果的な実施が課題となっている。

## 5、法人全体としての取り組み

### ① 「特別養護老人ホーム深谷荘医務室」(診療所)の開設

在宅サービスである、デイサービスやショートステイをご利用される方が医療機関への受診が困難な方がご希望された場合に定期的に診療が可能となるように整備

### ② デイサービスのサービス見直し

- ・認知症予防に「大人の学校」を実施
- ・在宅生活の継続支援としてご希望の方に朝食、夕食の提供。
- ・上記に加え、ご希望内容による個別機能訓練と集団体操の継続により安定して利用していただけるプログラムの再整備。

### ③ 外国人材の継続的な獲得

フィリピン本国から召還する方法で特定技能1号の介護人材5名が就労しており本年度は2名が退職したが2名の獲得で計5名となり、すでに介護現場の戦力として活躍している。

ベトナムから受け入れた3名のうち1名は結婚し産前産後休暇を取得中。1名は留学の為帰国。介護福祉士1名が就労している。

### ④ フードバンクの取り組み

備前市内の社会福祉法人と共同で「ささえあい福祉ネットワーク備前」を立ち上げ、生活困窮者に施設の備蓄食料の無償提供を行い、必要に応じて困りごとの相談ができる活動を継続している。

## 6、委員会活動

### ① 内部統制・コンプライアンス委員会

各事業の運営状況を定期的に自主点検し、適正運営の確認を行い適正運営に向けて再認識した。ハラスメント対策についてはリーダー職以上が常時監視し、傾向に基づいて研修に生かした。

### ② 虐待防止委員会

毎月の虐待防止アンケート、役職員が参加する会議からの情報収集により対策を検討し、傾向に基づいて研修に連動するように取り組んでいる。不適切ケアの認識を高め、虐待につながりかねない状況を未然に対策を行うことで、介護職員の不適切ケアの認識が向上している。

高稼働率の中で人員減により多忙になり、ストレスも増える状況の中で不適切な介護の共通認識ができてきていること、アンケートで毎月の認識ができること等で適切ケアの認識が深まり、介護サービスを提供している。

### ③ 感染予防対策委員会

毎月の全体会議時に感染症情報の共有と施設での方針や対策を検討している。引き続き新型コロナウイルス、インフルエンザのクラスターが発生しており、標準予防策の履行と衛生管理の強化を行い、初動対応ができるよう強化した。

### ④ 事故防止委員会

毎月各部門の担当者とヒヤリハット、事故の対策と施設の方針を検討している。目に見えて事故件数は減少していないものの、業務改善に向けた取り組みを確認し、改善を行う視点が醸成されている。

### ⑤ 食生活委員会

生活に合わせた食事提供について随時委託業者を含めた検討を行っている。  
又、日々の食事提供前の検食の感想に対して委託業者の改善につながるよう利用者に喜ばれる食事提供、薄味提供の模索を行った。  
食事介助が適切に行えるよう配膳から下膳までの時間を拡大できるよう変更を行った。

### ⑥ 研修委員会

前年度の研修に基づいて体系化しているため、開催頻度は少なかったものの、研修を受講する職員割合は7割程度と増加している。研修受講割合を高めることで共通認識をもち、その評価を研修記録や委員会等で把握することで研修内容の評価をしつつ、その年の傾向に合致した研修内容を行った。

#### ・法人内研修実施内容

実施月	研修内容	概要	実施方法	参加人数
4月	虐待防止研修	虐待に繋がりにかねない不適切なケアに気づく、虐待の分類、防止策について	動画研修	39名
5月	排泄支援研修	おむつ使用されている方への適切な使用方法に関する具体的な支援	実技	7名
5月	感染症研修	感染対策マニュアルに基づいた感染防止策	動画研修	40名
6月	認知症研修	認知症の定義、分類、中核症状と行動、心理症状について	動画研修	37名
7月	BCP 訓練研修	BCPに関する基本的な考え方	動画研修	38名
7月	コンプライアンス研修	法令順守、各法令について、ハラスメントについて	動画研修	39名
8月	事故防止研修	裁判事例から考えるリスクマネジメントリスク事故に対する考え方について	動画研修	33名
8月	感染症研修	感染症と急変対応	机上研修	19名

9月	身体拘束廃止 研修	身体拘束の3つのロック、身体拘束の具体 例	動画研修	27名
10月	虐待防止・身体 拘束廃止研修	不適切ケア・高齢者虐待防止・身体拘束廃 止	動画研修	29名
	BCP 災害訓練	災害時の物品、ロールプレイング	訓練	10名
	BCP 感染訓練	感染発生時の初動対応について	訓練	10名
11月	事故防止研修	リスクを予見し適切なケアを実施する方法	動画研修	29名
12月	生産性向上研 修	介護現場における生産性向上について 課題の見える化について	動画研修	7名
2月	身体拘束廃止 研修	身体拘束をしないで済む方法	動画研修	38名

## 7、感染症対策

基本的な感染対策を継続しマスク着用も継続している。

- ①全職員を対象とした出勤前、出勤後の検温、健康チェック
- ②マスクの着用と手洗いの励行
- ③感染症マニュアルを中心とした基本研修の実施
- ④事業継続計画に基づいた研修・訓練計画の実施

## 8、防災計画

- ①自然災害発生時の事業継続計画（BCP）の策定と訓練
- ②非常時の備蓄食料3日分の確保と管理方法の整備  
委託業者の日常的に使用する食料を3日分備蓄している。
- ③非常電源の確保  
ユニット型特養の非常電源として3日以上容量があるガス発電機の管理。

以上